

学校だより

No. 15 令和7年10月29日



とうざん

有田町立有田小学校 校長 山口 英一

有田小 HP の

QR コードは
こちらです。



自然の中で心を育む 一宿泊体験学習(4・5年生)一

10月23日～24日、4・5年生が黒髪少年自然の家で宿泊体験学習を行いました。緑豊かな自然の中で、友達と協力しながら多くのことを学んだ充実した2日間となりました。

到着後は乳待坊までハイキングへ。秋の気配を感じながら九州自然歩道を歩き、展望台では美しい景色を眺めながらお弁当を楽しみました。入所式では、施設での過ごし方について説明を受け、少し緊張した面持ちで話を聞いていた子どもたちも、「フィールドビンゴ」が始まると表情が一気に明るくなりました。地図と写真を手に施設周辺を探索し、班で協力しながら課題をクリアしていくうちに、笑顔と声かけが増えていきました。



夕食では活動を終えた子どもたちがお腹いっぱいに食べ、夜は「キャンドルの集い」で誓いの言葉や班の出し物を発表。どの班も工夫を凝らし、会場は笑い声と温かい雰囲気に包まれました。4・5年生全体が一つになった、思い出深い時間となりました。



2日目は「わんぱく大冒険」に挑戦。だんだん竹橋や暗黒の世界、輪投げなどに目を輝かせながら取り組み、険しい道では「がんばれ!」「もう少し!」と励まし合う姿が印象的でした。最後の難関「レインジャー」では、ロープで崖を下る最後の難関に挑戦。恐怖と向き合いながらも自分で決心して挑む姿に、たくましさが感じられました。下り終えた後の表情には安心と自信があふれています。



退所式では「友達と協力できたことがよかった」「家族と離れて生活して、その大切さが分かった」との感想が聞かれ、この2日間の充実ぶりが伝わってきました。

今回の宿泊体験を通して、子どもたちは「自分で考えて行動する力」「挑戦する勇気」「仲間と助け合う大切さ」などを学び、この経験がこれからの中学校生活や成長の大きな力となっていくことだと思います。

江越初代校長先生のお墓掃除（5・6年生）

毎年、有田町のおくんち期間中に、6年生が江越初代校長先生のお墓掃除を行っていました。昨年度から、5・6年生で実施することになりました。事前に用務員の原さんが草刈り機で草を刈ってくださった後、子どもたちが墓標の周りの草取りや墓標磨きを行いました。そのおかげで、とてもきれいになりました。

以前、学校だよりも紹介したとおり、本校では今でも江越家との交流があります。今年度も、そのご子孫の方が、お墓参りの後に学校を訪問されました。このお墓掃除のことについても、たいへん感謝されていました。

5・6年生のみなさん、ありがとうございました。江越初代校長先生も、きっと喜ばれていることと思います。



児童集会 - 校内貨物列車 -

10月17日の朝の時間の児童集会では、6年生が企画した「校内貨物列車」が行われました。

貨物列車とは、音楽に合わせてみんなで遊ぶゲームです。音楽が止まったら近くの人とじゃんけんをし、勝った人が先頭、負けた人が後ろについて列車を作ります。列車同士でじゃんけんを繰り返し、最後に全員がつながって長い列車になり、先頭の人がチャンピオンという、学校では定番のゲームです。

いつもは体育館などの限られた場所なのですが、今回はそこを飛び出して校舎内で行われました（右の写真は、職員室前と校長室前です）。

じゃんけんを通して笑顔が広がり、自然に友達との距離が近づきました。楽しく遊びながら、仲間意識を育む時間となりました。

計画・実施してくれた6年生、ありがとう！



ドイツ・マイセン市のアリタ小学校とオンラインで交流（3年生）

10月24日、3年生が、アリタ小学校マイセンの子どもたちとオンライン交流を行いました。

最初に、両校の校長が挨拶をし、その後は本校の3年生の子どもたちがこれまで調べてきた有田町や有田小学校のことについてクイズ形式で紹介しました。3年生は、これまでにドイツ語での自己紹介を学んだり、交流のための発表の練習をしたりしてきました。その成果をしっかり発表することができました。そして、アリタ小学校マイセンの子どもたちからのビデオ発表を聞き、お互いに質問をして交流は終わりました。

今後は、1枚の布にお互いで絵を描く交流が行われる予定です。これからも毎年、3年生がオンライン交流を行うことで、国際交流を経験していきます。

